

乳癌における p63 細胞質発現に関する研究

1. 研究の対象

2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日に当院で乳がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

p63 は癌抑制遺伝子である p53 ファミリーの 1 つであり、正常上皮や腫瘍において重要な役割を持つ転写因子です。免疫組織化学的に、p63 は基底細胞の核や扁平上皮がんの核に陽性になることが知られています。乳がんや他の臓器のがんの一部では、p63 が細胞質に陽性になることが報告されており、予後や悪性度、増殖能との関連が指摘されています。

本研究では、乳がんにおける p63 の細胞質発現の確認とその意義を調べることを目的とします。様々な乳がんの症例を用いて、p63 や関連物質の免疫染色を施行、それぞれの発現の評価を行い、年齢・大きさ・組織型・異型度・バイオマーカーなどとの関連を検討します。

研究期間は、埼玉県立がんセンター研究倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術で得られた組織で、診療のための病理診断に用いた後の残余検体

情報：年齢、病理診断報告書に記載されている腫瘍の大きさ、組織型、異型度等

4. 研究に用いる試料・情報の取得方法

試料は、以前に手術または生検で採取された組織検体で、診療のための病理診断に用いた後の残余検体を使用します。情報は電子カルテから取得します。

5. 試料・情報の公開

研究の成果は、研究責任者が関連学会などで発表します。発表内容に個人情報に関わる内容は含まれません。個人が識別できる情報は、当センターの研究責任者が保管・管理します。また、埼玉県立がんセンター病院長が責任をもって管理・監督します。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

埼玉県立がんセンター倫理審査委員会
令和6年3月4日 第3版

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

TEL：048-722-1111

埼玉県立がんセンター 病理診断科 堀井理絵（研究代表者）

-----以上